

あいさつ

さいたま市立大宮東中学校
校長 澤田 純一

本校では、令和2・3・4年度さいたま市教育委員会から「読解力向上 等」の研究指定を受け、研究主題を「読解力向上に向けた指導の工夫～ICTの活用を通して～」と設定しました。

さて、我が国を取り巻く社会情勢は、「平成の敗北」「失われた30年」など、経済成長もしないまま時間が失われています。そして、そこに誰も経験したことのない新型コロナウイルス感染症の蔓延で国家100年の計といわれる教育まで大きな打撃を受けました。さらに、ウクライナ情勢はデフレスパイラルからスタグフレーションを生み、先行き不透明な社会情勢に一層拍車をかけました。このように急速に変化していく時局における教育の役割を念頭に、ICTを活用しながら、教科等において授業実践することは、もはや「待ったなし」との覚悟で研究を進めてまいりました。

その間、GIGAスクール構想の前倒しに伴うインフラ整備や中学校学習指導要領の全面实施もあり、ICT環境を基盤として、生徒一人ひとりが学習内容を深く理解し、今後に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けるための授業改善が広く展開されてきたところです。

本校においても、読解力はすべての学びの基礎となることから、「つなげて読む」「比べて読む」「重ねて読む」活動を研究主題の核とし、従来、いわれている「文章を読んでその内容を理解し、解釈する力」と、OECDのPISA調査で問われている「目的や場所などに応じて的確に内容を読み取り、その内容を利用、熟慮する能力」へと学びを進化させてまいりました。今後、これらの学びが生徒一人ひとりの血肉となり、変革の時代をたくましく生き延びていくこと、すなわち「生きる力」の基となることと確信しています。

本研究は、まだ途上ではありますが、これらの実践をまとめることができましたので、皆様にご高覧いただき、さらなる研究に向けご指導をいただければ幸いです。

結びに、ご指導をいただきました埼玉大学教授・小倉 康先生、麗澤大学准教授・中園 長新先生をはじめ、さいたま市教育委員会や関係機関の皆様、ご協力いただきました保護者、地域の皆様に心より感謝を申し上げ、あいさつといたします。